

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	185	男女共同参画の推進	01	01	一般会計
基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			19	19	男女共同参画費
担当部課名		阿山支所 人権政策推進室	101	101	男女共同参画推進経費
作成者氏名	藤岡 勉	連絡先	43-0334	01	男女共同参画推進経費
			細目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	男女がともに、人権としての性と相互の人格を尊重する意識を持つことを目指して、阿山地区住民を対象とした男女共同参画講演会を開催します。	男女共同参画講演会への参加によって、阿山地区住民の人権意識が向上します。
本年度事業内容	・男女共同参画講演会の開催 健康福祉センターにおいて、阿山地区住民と阿山支所職員を対象とする講演会を開催します。	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	58	53	53
報償費	53	50	50
その他	5	3	3
合計(A+B)	1,498	1,493	1,493
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,498	1,493	1,493
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
男女共同参画講演会の開催	回	1	1	1			
	人	(共催)	120	130			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
男女共同参画講演会の参加者比率	開催会場の最大収容員数(150人)を分母とし、参加者の人数を分子とする参加者比率を指標としました。	%	(共催) 目標 ( 100 )	80	87
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成15年11月に実施した住民意識調査で明らかになったように、阿山地区においては女性の権利意識が低く、女性が男性に従属する意識が強いという分析結果が出ています。については、社会の風潮や昔からの慣習に捉われることなく、また、男性側だけでなく女性自身も意識を変革するよう啓発を推進していく必要があります。

評価	必要性	4	阿山地区においても、2006年3月に制定された「伊賀市男女共同参画基本計画」に基づき、性別による不利益・不公平をなくし、男女が互いに人権を尊重しあい、その個性と能力が発揮できる「男女共同参画社会の実現」を目指した啓発活動を推進していく必要があります。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		
				A